

富山県・砺波圏域

1. 令和元年度の達成目標・取組状況

令和元年度の達成目標	取組状況
長期入院患者数の減少 早期退院率の上昇	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科病院に対する協力要請。実務者会議において、リストアップされた地域移行対象者について、関係者で支援検討を実施。広域 AD,密着 AD に事例検討への助言者として出席を頂いた。 ・精神科病院によってはピアサポーター派遣の活用促進。 ・相談支援事業所および市担当課へ入院中から事例への相談対応を依頼。個別のケア会議を開催し、退院に向け支援チームで検討。
圏域における協議の場の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・設置に向けて圏域各市障害担当部局、精神科病院、相談支援事業所に対する説明を実施。 →R2年度からは精神医療保健福祉機関長等会議を圏域の協議の場として位置づけていく予定としている。 ・実務者会議の中で研修会を開催し、広域 AD より精神障害にも対応した地域包括ケア体制の進め方について講義して頂いた。 ・自立支援協議会において各市と動きを共有。また市の協議の場設立に向けた働きかけを実施。

2. 支援事業の成果

圏域内の精神科病院から地域移行支援対象事例を 15 事例抽出し、精神科病院、市担当部局、相談支援事業所が連携しながら支援内容の検討ができた。事例検討に加え、実務者会議において、砺波圏域の強みの再確認をしながら、圏域関係者の顔の見える関係づくりができた。また、圏域の強み・課題を抽出し、具体的な解決策の意見交換ができた。

<地域移行対象者の実績>

- ・今年度、リストアップされた中から 3 名の長期入院患者が退院。
- ・地域移行支援（サービス利用者）1 名。

3. 次年度に向けた課題等

- ・病院ではそれぞれ地域移行支援に取り組み、成果もでてきていたが、近年は退院率が目標値に達していない。実績背景の見直しが必要。
- ・地域包括ケアシステム構築の必要性について、関係機関が共通認識をもつこと。
- ・地域移行支援（サービス利用者）の件数の増加
- ・圏域の協議の場において、協議していく内容が不明瞭。（圏域の協議の場と厚生センターの実務者会議と市の協議の場の役割、機能、検討内容の分担が不明確）

4. 課題の解決に向けた 令和2年度の取組方針

- ・令和元年度の活動を継続。地域移行支援対象者の事例検討を継続して実施しながら、地域課題を整理する。また、検討を通して関係者の顔の見える関係づくりを促進する。
- ・砺波圏域における協議の場の開催。市における協議の場の設置については動向を把握していく。